



shibokusanpo

一隅を照らそう  
1月号

384号  
毎月28日発行

E-mail:info@tougakuin.jp



絵馬

祈りよしのはな

## 「いちにちいつしよう」考

住職 中島 有淳

新年と共に寿ぎ、本年が災害も無く健やかな日々であらん事を祈ります。

新聞やテレビのニュースは、毎日絶え間無く健やかな日々であらん事に流れ、なかなか気の晴れることはあります。身近に於いても冠婚葬祭の有り様も以前と随分と変わり、人々の距離感も微妙に変わってきた気がします。

良く言えば成長した社会になつて、種々な考え方方が大切に扱われ尊重されるようになります。でもその分孤立感が増大したと言えるかもしれません。社会が成熟するにつれ心の持ち方が大切になってしまいます。そこで年頭にあたり、五つの「いちにちいつしよう」を紹介します。これは昨年の『天台こよみ』に掲載された文を短くまとめてみました。

1. 一日一生(いちにちいつしよう)  
朝起きて夜眠るまでを一生と思い定めて、「今ここ」の一瞬、瞬間を大切に生きる。過去にくよくよせず、未来のことを先取つて心配せず、今日一日を全力で精一杯に生きることが大切です。

2. 一日一笑(いちにちいつしよう)  
「笑う門には福来る」とあるように、和顔愛語は心を明るくし、周りの人々にも良い影響を与えます。また近年では、笑いがもたらす健康効果が注目されています。笑いは免疫力を高め、病気の予防や病気の治療にも効果があるようです。

3. 一日一省(いちにちいつしよう)  
日に一度は自分を省みる時間を持つ。自分の行動や考え方を振り返り、改善点を見つけることが自己の成長に大切です。

4. 一日一承(いちにちいつしよう)

「一日一承」とは、毎日一つでも受け入れ、学び取るということです。誰かのお願いをひとつ叶えあげるということでもよいでしょう。これにより自らの心の平安を得ることができます。

5. 一日一照(いちにちいつしよう)

これは毎日、自分や他の人を照らすという意味です。自ら他人に光を与えて照らす「己を忘れて他を利すること」が大切です。誰かを助けたり、支えたり、優しく抱え込むことで自分もまた輝きを増すことでしょう。

このように意識して自分の心の有り様を見ていくと、これらのことは私達が自分でできることに気づきます。

感謝したり、今日も笑顔で一日を過ごすことができるでしょう。

日頃お寺や神社、更には自宅で手を合わせる習慣にも、五つの意味合いが深まつていくことでしょう。

こうしたことは、『一隅を照らす』運動の実践になります。本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますように。

合掌

新年に絵馬を奉納し  
受験シーズンには  
合格祈願をしたり  
古くは馬を奉納したそうです  
今年は午歳  
今年もよろしくお願ひ致します (遊)

願わくば 馬を走らせ  
天翔ける馬で空を飛び  
馬船を漕ぎて海を渡り  
世界中 津々浦々  
安穏でありますように



### 行 事 案 内

◎元日 令和八年丙午歳 (午前五時・午後二時)

#### 開運初護摩供嚴修

※本年も「開運たねせん」を授与します

◎一月八日 午後二時

#### 初薬師如來大護摩供

※秘仏 薬師如來御開扉 (元日～八日まで)

◎一月十二日 午後二時

#### 初不動尊大護摩供

※秘仏 薬師如來御開扉 (元日～八日まで)

◎一月十八日 午後二時

#### 初観音經誦誦法要 (於・觀音堂)

◎一月二十八日 午後二時

#### 初不動尊大護摩供

◎一月三日 午後二時

#### 節 分 会

◎息災護摩札 (志納金 一体五千円)

◎厄除護摩札 (志納金 一体五千円)

◎盜難除お札 (火防お札) (一体一千円)

◇自動車交通安全お守り (志納金 三千円)

(前以て番号をお知らせ下さい)

\*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしてあります

ご都合のよろしい時は ご一緒にどうぞ



### ◆◆◆この春、十二年に一度の御開帳！◆◆◆

川崎市北部を中心としたローカルな觀音靈場で『準西国稻毛十三所觀音靈場』があります。十二年に一度・午年の御開帳がこの春、四月十八日～五月二日（十五日間）にご開帳されます。当山の境外地堂「神木觀音堂」は第二十八番札所で、靈場巡りのバスツアーも実施します。詳細続報。是非ともお参り下さい。

○当山の「不動尊ご巡行」を描くドキュメンタリー映画『旅する不動明王』は、現在ひきつづき製作進行中。今春に試写会を予定しています。完成まで今しばらくお待ち下さい。（副住職）  
○昔から「小欲知足」と教わりました。最近ではこの言葉が大切に思えるようになりました。まだ寒くなります。お大事に。